

成果の説明書

(氏名) 永田 瞬	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<p>○講義</p> <p>・原則対面講義の実施に伴い講義方法の見直しを行った。経営学史、経営労務論、人的資源管理などの講義で教科書指定に基づいて事前予習を組み込む形式とした。forms を利用した課題の回収や、講義時間帯での解説、forms を利用した質問時間の確保などを行った。平常点などの評価方法が明確化され、従来の講義方式よりも学生が予習に費やしたとの印象を持った。</p> <p>○演習</p> <p>・4年生は教科書に基づく発展学習、関連する問題でのディスカッションなどを実施し、卒業論文の準備を行った。3年生も同様の学習方式を採用し、個人研究に役立てた。2年生は、テキストをもとにした統計データの作成方法などをディスカッションし、グループ論文執筆に役立てた。</p> <p>・3学年ともミニグループを用いた学習方法に転換した。報告者を入れ替え、複数のコメント担当を設けるなどをして多くの学生が発言する機会をもうけた。全体討論よりも積極的に発言する姿勢が見られた。</p> <p>・後期の演習で、2・3・4年生合同の検討会を実施した。複数のグループを結成し、各学年の研究成果を発表し、合同ゼミに備えた。相手大学の論文も事前に検討し、合同ゼミ当日の議論が盛り上がるように配慮した。</p> <p>○教科書準備</p> <p>・人事労務管理のテキスト準備を行った。研究会での報告や執筆者の会議を踏まえ、序章も含めて4章分の概要構成を作成した。10月末にはだいたいの原稿を書き上げた。事情により最終締め切りが伸びたが、年度末の締め切りに合わせて原稿の再修正を行った。</p> <p>○製造業プロジェクトの出版準備</p> <p>・地域科学研究所の製造業プロジェクトの出版準備を行った。4月中に序章や終章などの原稿を書き上げ、夏休み期間中に著者校正などを行った。またブックレット執筆のためにプロジェクト原稿を再整理し、新たに高崎製造業に関する序章を書き上げた。最終的に12月末に提出した。</p> <p>○学会の全国大会プログラム準備</p> <p>・労務理論学会のプログラム委員長として、2022年度の全国大会（拓殖大学）のプログラム企画、調整などを行った。統一論題やプレシンポ、ワークショップや特別講演の報告者選定や調整などを行った。</p>	
2 その他の事項	
<p>・職域代表</p> <p>・キャリア支援センター運営委員</p> <p>・地域科学研究所研究委員長</p>	

3 次年度以降の計画・抱負

- ・繊維中小企業における人事管理の研究を論文としてまとめる。
- ・群馬県内の農業分野における外国人労働者の活用などの実態調査を開始する。
- ・事前予習型の講義で、時事問題などを組み込む形にアップデートする。
- ・ミニグループを中心に学生が主体となる演習運営を心掛ける。